

## 令和5年度南信地区CPD研修会 報告

### 「御嶽山とチバニアン—ローカルな地質調査がグローバルな研究に結びつくまで—」

1. 日時: 令和6年2月17日(土) 13:30~16:00
2. 場所: 駅前交流テラス「すわっチャオ」
3. 参加者: 計31名(会員22名、協賛団体7名、一般2名)・・・講師は別
4. 内容:

#### 1) 「表題講演」 竹下欣宏先生の御講演

「チバニアン」としてニュースになったGSSP: 国際境界模式層断面とポイントの誕生のイタリアのライバルとのドラマチックないきさつ(JRのランペール誌に漫画チックに発表されている)やそのポイントと最後の地磁気逆転現象を含む地層の境界の地質年代を特定する特徴ある古期御嶽山火山灰層(携わった当事者である竹下先生や本郷先生が学生時代から研究対象としていた)についてなぜ指標になるのかなど、専門外の我々に対してとても分かりやすくご講演いただきました。



竹下先生の御講演

#### 2) 「表題講演+副題: 花粉の化石を調べて陸の古環境を読む」 本郷美佐緒先生の御講演

GSSP: 国際境界模式層断面認定には、様々な地層の特定法に対応できることが重要でしたが、その中でも標準的な比較指標となる花粉化石の研究がチバニアンの場合、弱く認定のネックとなっていました。学生時代の御嶽山研究を契機に花粉研究が専門でかかわった本郷先生の御講演では、恐竜や貝化石などの肉眼で確認できるものだけでなく、顕微鏡下で初めて見分けることができる花粉化石(驚きなのは、地層特定には顕微鏡下で仕分けし、計数する作業が必要であることです。)の研究方法から、花粉の供給源植物の当時の分布距離などが地層の特定に重要であることなど、竹下先生と同じに門外漢の我々に分かりやすくご講演いただきました。



本郷先生の御講演

#### 3) 質疑応答

御講演後の質疑応答は、盛況で時間を押してしまうなど、大盛況でした。